

第11回 年次カンファレンス



1. 開催日時 : 平成29年3月3日(金)13:30 ~ 17:45、3月4日(土)9:20 ~ 16:30
2. 開催場所 : はまぎんホールヴィアマーレ(横浜市)
3. プログラム : *以下のとおり
4. 参加人数 : 約180名

【1日目】3月3日(金)

講演・教育セミナー

座長 入田和男(日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長)

1. 訴訟を経験した医師からみた、医療訴訟の実態と課題
田中信一郎(国立病院機構徳島病院 病院長)
2. 臨床倫理：生命維持治療の差控え・中止と法・倫理
前田正一(慶應義塾大学大学院 教授)

会員報告

講演：検証一予期しない死亡・死産に対する事故調査制度

座長 入田和男(日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長)

1. 新制度の概要・運用の実態と課題：一年半が経過して
南須原康行(北海道大学病院 医療安全管理部長)
2. 医療安全管理者・他施設の事故調査委員としてみえてきた課題と今後のあり方

藤盛啓成(東北大学病院医療安全管理部 特命教授)

3. 支援団体としてみえてきた課題と今後のあり方

伊藤進一(兵庫県医師会医療安全対策常任委員会)

【2日目】3月4日(土)

講演：検証—予期しない死亡・死産に対する事故調査制度

座長 入田和男(日本赤十字社 九州ブロック血液センター 所長)

1. 新制度の概要・運用の実態と課題：一年半が経過して

南須原康行(北海道大学病院 医療安全管理部長)

2. 医療安全管理者・他施設の事故調査委員としてみえてきた課題と今後のあり方

藤盛啓成(東北大学病院医療安全管理部 特命教授)

3. 支援団体としてみえてきた課題と今後のあり方

伊藤進一(兵庫県医師会医療安全対策常任委員会)

教育セッション：インフォームド・コンセント

司会 前田正一(慶應義塾大学大学院 教授)

1. インフォームド・コンセントとその要件

丸山英二(神戸大学大学院 教授)

(1) インフォームド・コンセントの要件

(2) 患者が判断能力を欠く場合の対応

①代諾者：患者が成人の場合と、未成年・精神障がい者等の場合の代諾権者に関する議論

②代諾者は、患者になされる医療行為について、どのような判断をするべきか

③小児医療における代諾と、両親の意向が異なる場合の対応

2. 関連する最高裁判決の分析とその射程

池田守(西村あさひ法律事務所・弁護士)

(1) 未確立な医療と医師の説明義務

(2) チーム医療における総責任者の義務

(3) 熟慮の機会の確保

3. インフォームド・コンセントおよび説明同意文書に関する現場対応

坪佐恭宏(静岡県立静岡がんセンター 部長)

(1) 改善に向けた取り組みの実際

(2) 医療現場での課題

(3) 特定機能病院の承認要件の変更とインフォームド・コンセントの今後

4. (補足)インフォームド・コンセントおよび説明同意文書の実態